



ききょう便り

H17春号(第2号)

新年度にあたって

特別養護老人ホームききょうの里
施設長 諏訪 光生



先日、新聞を見ていたら、熊本大学文学部教授の高橋隆雄という先生のケア(介護)についての小論文が掲載されていました。先生の考えを要約すると、ケアとは「助けを求める相手に対して共感してその要求に応じる」ことである。そのとき、ケアする側にも何らかの見返りや充実感がもたらされる。こうして双方の間に「良き関係」が生まれるのであり、突き詰めればケアとは他者との「良き関係」の形成、維持ということである。というものでした。この考えに私も同感です。

「人は石垣、人は城」と詠われているように、全ての組織は人で決まります。

職員の間性や人格は様々ですが、桜は桜、梅は梅のままでいいから、それぞれが自分らしく輝きながらケアをし、利用者やそのご家族の方々との「良き関係」の形成に努めていきたいと思っています。最近、私どもの職場では「接遇の基本」を見直し、①弾むような声、②さわやかな笑顔、③誠実な対話、としました。これを合い言葉に、今年度もさらに頑張ってまいります。



お知らせ



私どもの「ききょう第2デイサービスセンター」は、平成7年の沼田市保健福祉センター建設に伴い、市からの委託事業としてセンター内に誕生し、現在までお世話になってきましたが、この4月1日より沼田市社会福祉協議会様に運営を引き継ぐことになりました。

当時は、当法人だけがデイサービス事業を行っておりましたが、現在では4カ所に増加し、公有施設での運営は、私どもだけとなったため、公平性の観点から社会福祉協議会様へ運営を引き継ぐことを決断した次第です。

「ききょう第2デイサービスセンター」への永年にわたるご愛顧と、ご協力下さいました皆様に心より御礼申し上げます。

当法人としましては、「ききょうの里」における従前のサービスはもとより、様々な福祉サービスの展開を考えておりますので、今後とも一層のご愛顧とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

🎵 ボランティア紹介 🎵

琴城流大正琴の皆様

今回は琴城流大正琴の皆さんを紹介しします。平成16年4月から月に1～2回、普段練習で鍛えた腕を披露していただいています。大正琴はもちろんですが、中でもベルハーモニーは利用者の方に人気があります。ベルハーモニーとは、各音階に分かれ一つの曲を演奏するというものです。

演奏する曲は季節にあったものから、懐かしいものまで幅広く、利用者の方も曲を口ずさみながら自分のパートの音ははずさないように楽譜に必死で見入っています。琴城会の皆さんは、「利用者の方の楽しそうな顔をみると、こちら元気をもらえる」と。今後も利用者の皆さんに楽しんで頂けるよう色々な曲に取り組んでいきたいと抱負を語って下さいました。



メンバーは 真下喜代子さん、倉品企允子先生、小須田麗子さん、川端キヌコさん。

💖 4月からのニューフェース 💖



今春、大学を卒業し4月からききょうの里の一員となる内田真由美さんを紹介しします。社会人としての一步を踏み出す彼女が仕事にける意気込み等を語って下さいました。

「はじめまして。内田真由美と申します。

立正大学社会福祉学部社会福祉学科を卒業しました。在学中は特に高齢者福祉分野を中心に学びました。実家は川場村で、将来は社会福祉士として利根沼田地区の高齢者福祉の発展に貢献したいと思っています。介護職として、独りよがりな介護にならないように利用する側の目線で物事を考え判断しながら、質の高い介護を心がけていきます。未熟者ですが一生懸命頑張りますのでよろしくお願い致します。」

編集後記

4月を迎え第2号（春号）の発行になりました。新年度が始まり、介護保険を始めとし変化の多い年度になることが予想されますが、今年度も利用者の方の笑顔を見ることが出来るような機会を作っていきたいと思ひます。

そこで・・・

4月といえば

「お花見」

普段外出が少ない入所者の方やなかなか沼田公園まで行くことのない利用者の方が、楽しくお花見が出来るように、一緒に桜を見ながら会話をしてくれる方を大募集しします。

時期は4月第3週頃を予定していません。ご都合のつく方は下記までご連絡下さい。

ききょうの里

高橋 潤朗(みつお)
星野 真由美

TEL : 23-8831